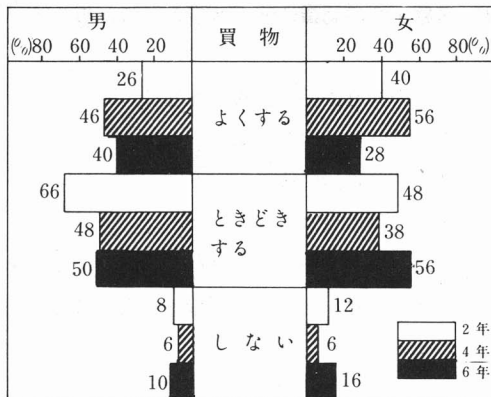


5) 買物について

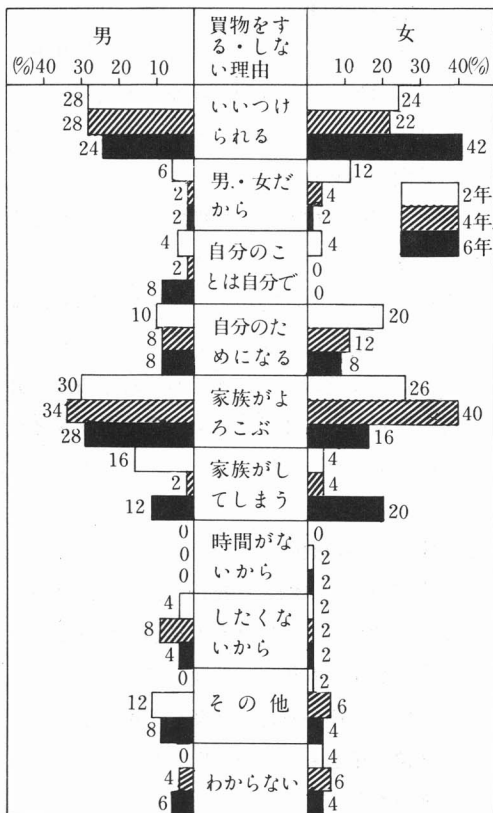
表17: 買物をする・しないの程度



約90%の児童が買物をしていると回答している。性差では、「する」が男子で92%、女子で88.6%と大差はない。

学年発達では、低学年の方が「する」が多くなっている。

表18: 買物をする・しないの理由



買物をする理由としては、全体では「家族がよろこぶ」が29%、次いで「いいつけられる」が28%が多かった。

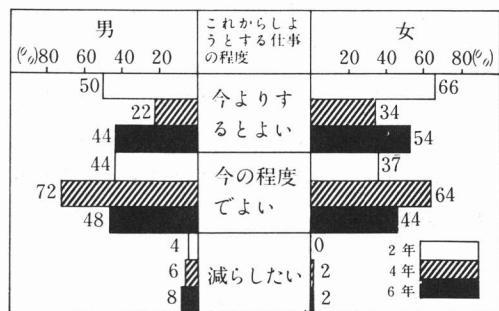
性差では、「家族がしてしまう」、「したくない」の理由が男子にや、多くみられたが、他の理由では顕著な差はみられない。

学年別では、女子の場合、低学年では、「家族がよろこぶ」「自分のためになる」からする。高学年では「いいつけられる」からすると、その理由に特徴がみられた。

男子の場合は、学年に関係なく、「家族がよろこぶ」31%、「いいつけられる」27%に集中している。

6) 家庭の仕事をどの程度するのがよいと思うか。

表19: これからしようとする仕事の程度



家庭の仕事の分担については、「今よりもっとするとよい」に「今の程度でよい」を加えると約97%になった。

学年別では、「今よりもっとするとよい」が2年に高く、女子で66%、男子50%となっている。

性別では、女子が各学年ともに男子より「今よりもっとする」の割合が高く約51%で、分担の意欲がみられるが、男子では、約39%と消極的である。男子では現状肯定が約55%である。

分担している具体的なその他の仕事として、動物の世話、店の手伝い（配達）、車みがき、ごみ捨て、庭や玄関、洗面所の掃除などを行っていることがわかった。